

## 旭川赤十字病院出前講座のご案内

### 概要

旭川赤十字病院は、地域医療支援病院として「地域の医療機関等との連携推進」を基本方針の一つに掲げています。この基本方針に基づき、当院の職員が地域の医療・介護施設に出向き研修会を行うことを「出前講座」と名付けました。地域の医療・介護施設に出向き、皆様と顔の見える関係、および、共に学ぶ体制を築くことにより、さらなる連携強化を目指したいと願っております。

皆様のお役に立てますよう様々な講座メニューをご用意させていただいております。どうぞ、お気軽にお申込みください。

### 対象

旭川市内・市外の医療・介護施設従事者

### お申込み

旭川赤十字病院ホームページ下右側のメニューに「臨床研修/職員研修(教育研修センター)」のアイコンがございます。そこをクリックしていただきますと、「出前講座のご案内」がございます。さらにクリックしていただきますと「前講座メニュー」ならびに「出前講座申込書」(Word・PDF形式)がございます。

1. 出前講座メニュー表からご希望の講座をご選択ください。
2. 「出前講座申込書」に、ご希望の講座名、お申込み施設名・担当者様のお名前等をご記入いただき、メール添付(またはFAX)にて教育研修センターにご提出願います。
3. 教育研修センターから、お申込み施設の担当者様に連絡させていただき、研修設備等について確認させていただきます。その後、担当講師と日程等を調整し、決定通知書をメールにてお送りさせていただきます。
4. 決定後、担当講師からお申込み施設の担当者様に連絡させていただきますので、詳細についての打ち合わせをお願いいたします。
5. 講師招聘状(依頼文書)を旭川赤十字病院長宛にご送付願います(ひな形がございます)。  
\*日程の都合上、原則開催希望日の2か月前までにご連絡をお願いいたします。

### 注意事項

1. 開催時間は、原則平日の14時から19時とさせていただきますが、ご要望がございましたらご相談させていただきます。
2. 当講座料金につきましては、お申込み施設の規程に準じさせていただきます。規定のない場合は、別途ご相談とさせていただきます。
3. 担当講師の交通費につきましては、お申込み施設にお願いしております。
4. 講座時間は基本60分とさせていただきます(質疑応答を含む)。メニューの内容・時間により、組み合わせも可能でございます。
5. 当日の配布資料につきましては、事前にデータをメール等でお送りいたしますので、必要部数をご用意願います。
6. 講師の業務の都合により、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。
7. ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

#### 【お申し込み・お問い合わせ先】

旭川赤十字病院 教育研修センター

〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号

TEL: 0166-22-8111(1420・1421) FAX: 0166-22-7622

E-mail: kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp

## 出前講座メニュー

対象：医（医療職—看護師、医療スタッフ）  
：介（介護職）

令和3年度版

   新規内容

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
1	呼吸リハビリテーション	・呼吸障害に対する運動療法 ・生活指導(ADLの工夫)	講義・実技	医・介 時間:応相談	理学療法士 作業療法士
2	心臓リハビリテーション	・運動療法の重要性～リスク管理も含めて～ ・生活指導(ADLの工夫)			
3	栄養と貯筋	必要なカロリーと大事な運動			
4	顔面神経麻痺のリハビリテーション	・顔面神経麻痺の病態 ・表情筋運動の方法			
5	パーキンソン病を理解しよう	・パーキンソンのリハビリテーション ・生活指導(ADLの工夫)			
6	がんのリハビリ	・がんの運動療法の重要性 ・お家でできる簡単体操			
7	褥瘡予防	褥瘡予防のポジショニング			
8	介護する側の健康管理も大事	・転倒予防のための運動等 ・腰痛症の予防と運動 ・生活習慣病と運動			
9	どんな福祉用具を使えばいいの？	・福祉用具の種類、選び方			
10	失語症	失語症の病態と関わり方			
11	構音障害	構音障害の病態と関わり方			
12	口腔ケア	口腔ケアの方法			
13	嚥下調整食	咀嚼・嚥下しやすい食事とは 嚥下調整食 2013 について	講義	医・介 時間:応相談	管理栄養士
14	腎臓病の食事	腎臓病の食事療法の基本			
15	心臓病の食事	心臓病の食事療法の基本			
16	糖尿病の食事	糖尿病の食事療法の基本			
17	糖尿病と検査	糖尿病で行われる検査の内容	講義	医・介 30～60分	臨床検査技師
18	心臓超音波検査	心臓超音波検査の実際	講義・実技	医 30～60分	
19	血液型と輸血	輸血の際に行われる検査と血液型	講義	医 30～60分	
20	微生物のお話	ノロ・インフルエンザ等の微生物に関すること	講義	医・介 30～60分	

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
21	がん細胞ってどんな顔	がん細胞の顕微鏡像	講義	医・介 20～30分	臨床検査技師
22	医療安全①	医療人のためのリスク感性養成講座	講義	医・介 60分	医療機器安全管理責任者 (臨床工学技士)
23	医療安全②	間違いだらけの「患者誤認」		医 60分	
24	医療安全③	医療機器安全管理責任者の仕事		医 60分	
25	感染リスク感性	医療人のための“感染”リスク感性養成講座		医・介 60分	
26	透析管理①	透析室のリスクマネジメント		医 60分	
27	透析管理②	透析技術 (ブラッドアクセス管理など)		医 60分	
28	ペースメーカ管理	ペースメーカの安全管理	講義・実技	医 60分	臨床工学技士
29	救命処置	一次救命処置・二次救命処置	講義・実技	医・介 60分	
30	人工呼吸器①	人工呼吸器の構造・原理・モード他	講義	医 時間:応相談	
31	人工呼吸器②	人工呼吸管理の実際	講義・実技	医 60分	
32	被ばくのお話	被ばくと人体への影響	講義	医・介 60分	診療放射線技師
33	薬のお話	薬全般について(内容は応相談)	講義	医・介 30～60分	薬剤師
34	注射薬調製	注射薬の調製(抗がん剤含む)	講義・実技可	医 30～60分	
35	医療安全	旭川赤十字病院の医療安全	講義	医 時間:応相談	医療安全管理者 (看護師)
36	訪問看護のお話	訪問看護の内容、利用方法、費用、連携	講義	医・介 30分	医療支援センター保健師・看護師
37	看取りのケア①	施設入居者の人生最終段階のケアと支援		医・介 時間:応相談	
38	高齢者とのコミュニケーション方法	高齢者との対話がうまくいかない時にはどうしたらいいの？	講義	医・介 30分	老人看護 専門看護師
39	高齢糖尿病患者の特徴	高齢糖尿病患者さんと若い糖尿病患者さんに違いはあるの？		医・介 60分	
40	がん患者さんの心に配慮したコミュニケーション	がん患者さんの気持ちの理解、コミュニケーション方法のポイント	講義	医・介 30～60分	がん看護 専門看護師
41	知っておきたいがんの基礎知識	がんについて、がんの検査と治療、信頼できる情報と窓口など			
42	コミュニケーションと意思決定支援	コミュニケーションの基礎知識、倫理原則、意思決定支援			

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
43	がん看護と看護倫理	がん看護における看護倫理の重要性、がん看護で重要になる倫理的問題とその対応	講義	医・介 30～60分	がん看護 専門看護師
44	がん患者さんの家族ケア	変化する家族機能への支援、予期悲嘆への援助、倫理調整の必要ながん患者家族へのケア			
45	がん患者さんをケアする看護師へのケア	がん看護に携わる看護師の共感疲労、看護師のグリーフに対するケア			
46	感染対策	感染対策について	講義	医・介 40分	感染管理 認定看護師
47	手洗いと個人防護具	手洗い・防護具の着脱方法	講義・実技	医・介 30分	
48	施設内感染ラウンド	施設内感染ラウンドと支援	ラウンド・フィードバック	医・介 90分 時間:応相談	
49	褥瘡管理①	褥瘡の予防(リスクアセスメント、圧迫の除去、ずれの低減、スキンケア)	講義・実技可	医・介 60分	皮膚・排泄 ケア看護 認定看護師
50	褥瘡管理②	体位変換・圧抜き	実技	医・介 30分	
51	創傷管理	創傷被覆材・外用剤の使用法	講義		
52	ストーマケア①	ストーマ装具の交換	実技		
53	ストーマケア②	ストーマ装具選択	講義		
54	失禁ケア①	失禁時のスキンケア	講義		
55	失禁ケア②	おむつの使用方法	講義・実技		
56	スキンケア①	スキンケアの基本	講義・実技可		
57	スキンケア②	高齢者のスキンケア	講義・実技可		
58	術前準備の必要性	① 手術前の身体準備 ② 装着物を除去する必要性	講義		医 45分
59	手術体位と褥瘡予防	皮膚・神経損傷予防、手術体位固定の注意点	講義・実技	医 60分	
60	手術中の体温管理	手術中の体温管理の重要性	講義	医 30～40分	
61	麻酔の種類	麻酔の種類		医 30分	
62	麻酔に関わる看護	麻酔中の看護		医 30～40分	
63	手術機材の安全使用	手術機材の安全使用		医 30～40分	
64	呼吸の解剖生理	呼吸に関する解剖生理	講義	医 時間:応相談	集中ケア 認定看護師
65	呼吸・循環のフィジカルアセスメント	呼吸・循環のフィジカルアセスメント	講義・実技可		
66	酸素療法中の看護	実技可 適切な酸素投与方法、酸素療法中の看護	講義・実技		

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
67	排痰援助	実技 体位ドレナージ・気管吸引など	講義・実技	医 時間:応相談	集中ケア 認定看護師
68	人工呼吸器管理中の看護	感染対策、事故防止対策など			
69	容態悪化の兆候	感染など敗血症により急変する可能性のある患者の兆候について	講義		
70	高齢者の観察	加齢による身体の変化、それを踏まえた観察について	講義・実技	医・介 時間:応相談	
71	心不全って何？	心不全の症状・観察点について	講義	医・介 40～60分	慢性心不全 看護 認定看護師
72	心不全悪化予防	心不全の悪化を予防するための生活指導～水分・塩分について、食事など			
73	BLS	一次救命処置(AED までの処置)	講義・実技	医・介 60分 (調整可能)	救急看護 認定看護師
74	ALS①	二次救命処置:気管挿管の介助		医 60分 (調整可能)	
75	ALS②	二次救命処置(BLS 修得者対象) 一連の流れ、静脈路確保		医 60分 (調整可能)	
76	ALS③	二次救命処置(①②を受講した方) 一連の流れ		医 90分 (調整可能)	
77	窒息①	窒息の介助法 -反応がある場合-		医・介 60分 (調整可能)	
78	窒息②	窒息の介助法 -反応が数分後になくなった場合-		医・介 60分 (調整可能)	
79	急変時記録	急変時の記録(視聴覚教材を用いて)と事例検討	講義	医・介 60分 (調整可能)	
80	急変の前兆	急変前兆の予測と観察 -事例を通して-		医・介 60分 (調整可能)	
81	病態と看護①	急性期看護 -呼吸・循環・神経-		医・介 各 60分	
82	病態と看護②	熱中症と看護		医・介 60分 (調整可能)	
83	災害看護	災害時の対応		医・介 60分 (調整可能)	
84	終末期看護 (看取り)	介護施設で考えるグリーフケア		医・介 60分 (調整可能)	

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当	
85	脳神経のフィジカルアセスメント	脳神経のフィジカルアセスメント	講義	医 20～60分 (調整可能)	脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師	
86	脳卒中における脳・神経機能のアセスメントと看護	①意識障害 ②運動障害 ③高次脳機能障害	講義・実技可	医・介 各 60～90分 (調整可能)		
87	脳卒中再発予防のお話	再発予防、血圧の管理、生活習慣	講義	医 30～60分 (調整可能)		
88	片麻痺患者のポジショニング	片麻痺のある患者のポジショニング	講義・実技	医・介 20～60分 (調整可能)		
89	廃用症候群の予防技術	①誤嚥性肺炎 ②拘縮 ③深部静脈血栓症 ④起立性低血圧	講義・実技	医・介 各 60～90分 (調整可能)		
90	安全な化学療法	外来化学療法におけるリスク管理	講義	医 30分	がん化学療法看護 認定看護師	
91	副作用対策①	悪心・嘔吐の種類とメカニズム、抗がん薬の種類、制吐薬、ケア		医 30～60分		
92	副作用対策②	骨髄抑制のメカニズムとケア				
93	副作用対策③	便秘・下痢のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア				
94	副作用対策④	口内炎のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア				
95	副作用対策⑤	皮膚障害のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア				
96	副作用対策⑥	脱毛のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア				
97	副作用対策⑦	神経毒性のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア				
98	副作用対策⑧	倦怠感のメカニズムとケア				
99	副作用対策⑨	アレルギー/過敏症のメカニズムと抗がん剤の種類、ケア				
100	血管外漏出を防ごう	抗がん薬の血管外漏出時のリスク、予防策と早期発見、患者教育、漏出時の対応				
101	CVポートトラブルを防ごう	CVポートの種類、機能、穿刺、抜針、投与中の観察点、自己管理				医 40～60分
102	抗がん剤の曝露を防ごう	曝露とは、抗がん薬の毒性、曝露場面と経路、曝露防止策、曝露時の対処法				医 60分

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
103	緩和ケア	緩和ケアの定義、緩和ケアの対象、ケアの内容	講義	医 30～60分	緩和ケア 認定看護師
104	倫理的問題	臨床で起こりやすい倫理的問題とその対応	講義		
105	患者・家族とのコミュニケーション	コミュニケーションの必要性の理解、コミュニケーションスキルを身につける	講義・実技可	医・介 60分	
106	意思決定支援	アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning)	講義	医 30～60分	
107	がん疼痛	疼痛アセスメント、WHO 方式がん疼痛治療法、医療用麻酔の使用 方法と副作用対策			
108	痛み以外のがん 症状緩和	消化器症状、呼吸器症状、倦怠感、食欲不振、悲嘆、口腔トラブル、リンパ浮腫			
109	がん患者の精神 症状への対応	せん妄、抑うつ、不眠			
110	スピリチュアルペ イン	スピリチュアルペインの理解とその 対応			
111	終末期鎮静	適応と実際、倫理的要件、鎮静に おける看護師の役割など			
112	終末期における 家族看護	家族のたどる心理過程と、関わり 方、子どもへの対応			
113	看取りのケア②	臨死期のケア、家族ケア、エンゼ ルケア	講義・実技	医・介 30～60分	
114	遺族ケア	遺族の心情の理解とケアの内容	講義	医・介 60分	
115	終末期のリンパ浮 腫ケア	終末期のリンパ浮腫ケア	講義・実技		
116	終末期のコミュニ ケーション	悪い知らせを受ける時、意思決定 場面などのロールプレイ	講義・実技		
117	せん妄患者の看 護	せん妄の治療・看護	医・介 30～90分		精神科看護 認定看護師
118	精神科疾患患者 の看護	精神疾患患者の精神症状の評価 と看護	医・介 30～90分		
119	睡眠障害患者の 看護	睡眠障害の薬物療法と看護	医・介 30～60分		
120	認知症看護	安心感を提供する「カンフオータ ブルケア」	医・介 60～90分		

No	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
121	糖尿病予防	糖尿病を予防するために日常で気をつけること	講義	医・介 30～40分	糖尿病看護 認定看護師
122	糖尿病①	糖尿病の一般的な内容			
123	糖尿病②	糖尿病の合併症の内容、予防方法			
124	インスリン注射	インスリンの効能と副作用、注意点			
125	低血糖症状と看護	低血糖の症状、対処法、注意点			
126	糖尿病のフットケア	ニッパーでの爪切り、打腱器、ノファイルメント、振動覚の使用法	講義・実技	医・介 30～60分	摂食嚥下障 害看護 認定看護師
127	安全に食べる	安全に食べさせるための姿勢、食べさせ方、食事形態の検討、とろみ水の作成方法	講義・実技	医・介 60分	
128	寝たままでもお口をきれいに	寝たきりの人、嚥下障害のある人、認知症により拒否がある人の口腔ケア			
129	食べる機能を評価する	食べる機能が低下している恐れがある人に対する評価方法			
130	認知症の症状とケア	中核症状とケア、行動・心理症状とケア、せん妄の予防とケア	講義	医・介 60分	認知症看護 認定看護師
131	日常生活のケア	日常生活のアセスメントの視点、生活リズムの調整、転倒予防			
132	認知症ケアにおける倫理	意思決定支援、ケアにおける倫理的課題、ケアにおける倫理的ジレンマの対応			
133	接遇の基本	5つの基本:身だしなみ、表情、姿勢、挨拶、言葉遣い	講義 アクションラー ニング	医・介 60分	接遇インス トラクター



## 旭川赤十字病院「出前講座」申込書

申込書記入日 令和 年 月 日

医療機関・介護施設の名称					
連絡先	住所	〒			
	担当者職・氏名 (ふりがな)	役職： (ふりがな)			
	電話	FAX		E-mail	

※申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、出前講座のために使用させていただくものであり、その他の用途に使用することはありません。

※E-mail アドレスは連絡用に必要となります。必ずご記入下さいますようお願いいたします。

出前講座の希望内容	開催希望日時	第1希望	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分			
		第2希望	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分			
		第3希望	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分			
	開催会場名					
	会場住所	〒				
	番号 講座名	No.	講座名：			
参加予定人数	名	参加者の内訳	(例：看護師 30名、介護士 10名など)			
設備の有無 <input checked="" type="checkbox"/> を記入ください	<input type="checkbox"/> ノートパソコン <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン <input type="checkbox"/> ポインター <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> 資料印刷可能   その他 ( )					

## 旭川赤十字病院「出前講座」決定通知書

ご依頼いただきました出前講座は、下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

令和 年 月 日

決定事項	テーマ番号	No.	講座名		
	開催日時	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分			
	役 職		(ふりがな) 講師氏名		
	講師連絡先	部署：	電話：22-8111 (代)	E-mail：	

- ・ 病院長宛に講師依頼文書（招聘状）の郵送をお願いいたします。
- ・ 以後、担当講師からご連絡させていただきますので、打ち合わせをお願いいたします。
- ・ ご不明な点がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

**【連絡先】** 旭川赤十字病院 教育研修センター  
 〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号  
**TEL : 0166-22-8111(1420・1421)** FAX : 0166-22-7622  
 E-mail : kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp